



R コマンド

この章では、R で始まる Cisco Nexus Virtual Services Appliance コマンドについて説明します。

ramsize

仮想サービスの RAM に割り当てたメモリを変更するには、**ramsize** コマンドを使用します。

ramsize *size*

構文の説明

size RAM のサイズをメガバイト単位で指定します。有効な範囲は 1024 ~ 4096 です。

デフォルト

デフォルトの RAM サイズは、仮想サービスによって異なります。たとえば、Virtual Supervisor Module (VSM) のデフォルトの RAM サイズは 2048 GB です。

コマンドモード

仮想サービス ブレード コンフィギュレーション (config-vsbs-config)

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、RAM サイズを 3072 MB に設定する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# virtual-service-blade name VSM-1
n1010(config-vsbs-config)# ramsize 3072
n1010(config-vsbs-config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
description	仮想サービスに説明を追加します。
numcpu	NUM CPU を設定します。
show virtual-service-blade	仮想サービス ブレードに関する情報を表示します。
virtual-service-blade	指定した仮想サービスを作成して、そのサービスのコンフィギュレーションモードに切り替えます。

reload

システムをリブートするには、**reload** コマンドを使用します。

reload

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、システムをリブートする例を示します。

```
n1010# reload

This command will reboot the system. (y/n)? [n] y
2009 Oct 30 21:51:34 s1 %$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-PFM_SYSTEM_RESET: Manual system restart
from Command Line Interface
n1010(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show version	ソフトウェア バージョンに関する情報を表示します。

reload module

デバイスのモジュールをリロードするには、**reload module** コマンドを使用します。

reload module slot [force-dnld]

構文の説明

<i>slot</i>	シャーシのスロット番号。
force-dnld	(任意) モジュールにソフトウェアを強制的にダウンロードします。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、モジュールをリロードする例を示します。

```
n1010# reload module 2
```

関連コマンド

コマンド	説明
show version	ソフトウェアバージョンに関する情報を表示します。

rmdir

ディレクトリを削除するには、**rmdir** コマンドを使用します。

```
rmdir [filesystem://module/]directory
```

構文の説明		
<i>filesystem:</i>	(任意) ファイル システムの名前。名前では、大文字と小文字が区別されま す。	
<i>//module/</i>	(任意) Virtual Supervisor Module (VSM) の ID を指定します。有効な値 は、 sup-active 、 sup-local 、 sup-remote または sup-standby です。ID で は、大文字と小文字が区別されます。	
<i>directory</i>	ディレクトリの名前。名前では、大文字と小文字が区別されます。	

デフォルト ディレクトリが現在の作業ディレクトリから削除されます。

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、my_files ディレクトリを削除する例を示します。

```
n1010# rmdir my_files
```

関連コマンド	コマンド	説明
	cd	現在の作業ディレクトリを変更します。
	dir	ディレクトリの内容を表示します。
	pwd	現在の作業ディレクトリ名を表示します。

role feature-group name

特定の機能グループをサポートするユーザ ロールを設定するには、**role feature-group name** コマンドを使用します。ロールを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

role feature-group name *group-name*

no role feature-group name *group-name*

構文の説明	<i>group-name</i> ロールの説明的な名前を入力します。32 文字以下の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
-------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション (config)
----------	----------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
---------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、特定の機能グループをサポートする GroupA という名前のロールを作成する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# role feature-group name GroupA
n1010(config-role-featuregrp)#
```

次に、GroupA という名前のロールを削除する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no role feature-group name GroupA
n1010(config-role-featuregrp)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	role name	ユーザ ロールを作成します。
	show user account	ユーザ アカウントの設定を表示します。
	show users	ユーザ セッションに関する情報を表示します。
	username	ユーザに関する情報を設定します。

role name

ユーザ ロールを作成するには、**role name** コマンドを使用します。ロールを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

role name *role-name*

no role name *role-name*

構文の説明

role-name この名前のユーザ ロールを作成します。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、UserA という名前のロールを作成する例を示します。

```
n1010 # configure terminal
n1010(config)# role name UserA
```

次に、UserA ロールを削除する例を示します。

```
n1010(config)# no role UserA
```

関連コマンド

コマンド	説明
role feature-group name	特定の機能グループをサポートするユーザ ロールを設定します。
show user account	ユーザ アカウントの設定を表示します。
show users	ユーザ セッションに関する情報を表示します。
username	ユーザに関する情報を設定します。

run-script

ファイルに保存されているコマンド スクリプトを実行するには、**run-script** コマンドを使用します。

```
run-script {bootflash: | volatile:} filename
```

構文の説明

bootflash:	コマンド スクリプトが格納されているファイルがブートフラッシュ ファイル システム内にあることを示します。
volatile:	コマンド スクリプトが格納されているファイルが揮発性ファイル システム内にあることを示します。
<i>filename</i>	コマンド スクリプトが格納されているファイルの名前です。名前では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、揮発性ファイル システムの **Sample** ファイルに保存されているコマンド スクリプトを実行する例を示します。

```
n1010(config)# run-script volatile:Sample
n1010(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
cd	現在の作業ディレクトリを変更します。
copy	ファイルをコピーします。
dir	作業ディレクトリの内容を表示します。
pwd	現在の作業ディレクトリの名前を表示します (pwd)。